

授業科目 (科目ID)	動物愛護・適正飼養実習	担当教員 (実務経験)	前鼻 彰人 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 動物病院		
対象年次・学期	1年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	演習	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	動物の飼育管理に関する基本的な扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼育に関連した科目で学んだ知識の実践力を修得する。				
到達目標	動物の基本的な取扱いの技術を修得する。				
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠動物看護実習テキスト(第3版) 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ10巻 適正飼養指導論/動物生活環境学/ペット関連産業概論				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70%	評価試験:70% 小テスト:30%		
	レポート	%			
	小テスト	30%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の 留意事項					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	基本的な取扱い 1	爪切りの保定法		
	2	基本的な取扱い 2	爪切り処置		
	3	基本的な取扱い 3	肛門嚢処置の保定法		
	4	基本的な取扱い 4	肛門嚢処置、小テスト		
	5	基本的な取扱い 5	耳掃除の道具の取り扱いと洗浄剤		
	6	基本的な取扱い 6	耳掃除の保定法		
	7	基本的な取扱い 7	耳掃除処置、小テスト		
	8	基本的な取扱い 8	口腔内衛生管理の保定法		
	9	基本的な取扱い 9	口腔内衛生管理、小テスト		
	10	基本的な取扱い 10	動物愛護管理センターの活動		
	11	基本的な取扱い 11	動物取扱業		
	12	動物愛護管理行政	動物愛護管理センター見学		
	13				
	14				
15					

授業科目 (科目ID)	動物看護総合実習		担当教員	愛玩動物看護師学科教員		
			(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	動物病院	
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	33	時間数	65時間
授業目的	実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。					
到達目標	愛玩動物看護師の技術を修得する。					
テキスト・参考図書等						
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	%	・実習日誌:20% ・実習評価表:40% ・実習オリエンテーションレポート:20% ・実習報告会評価:20%			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	%				
	その他	100%				
履修上の留意事項	看護実習着					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題		履修内容		
	1	出発式		出発式		
	2	実習前オリエンテーション 1		実習に必要な基礎知識の復習		
	3	実習前オリエンテーション 2		実習に必要な基礎知識の復習		
	4	実習前オリエンテーション 3		実習に必要な基礎知識の復習		
	5	実習前オリエンテーション 4		実習に必要な基礎知識の復習		
	6	実習前オリエンテーション 5		実習に必要な基礎知識の復習		
	7	実習前オリエンテーション 6		実習に必要な基礎知識の復習		
	8	実習前オリエンテーション 7		実習に必要な基礎知識の復習		
	9	動物病院実習		食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践		
	10	動物病院実習				
	11	動物病院実習				
	12	動物病院実習				
	13	動物病院実習				
	14	動物病院実習				
	15	動物病院実習				

履修主題・履修内容	16	動物病院実習	
	17	動物病院実習	
	18	動物病院実習	
	19	動物病院実習	
	20	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践
	21	動物病院実習	排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践
	22	動物病院実習	感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践
	23	動物病院実習	内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践
	24	動物病院実習	動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
	25	動物病院実習	
	26	動物病院実習	
	27	動物病院実習	
	28	動物病院実習	
	29	実習報告 1	パワーポイント作成
	30	実習報告 2	パワーポイント作成
	31	実習報告 3	パワーポイント作成
32	実習報告 4	発表	
33	実習報告 5	発表	

授業科目 (科目ID)	動物看護総合実習 21a123	担当教員 (実務経験)	前鼻 彰人 動物病院 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
対象年次・学期	1年・後期	担当教員	佐藤 真帆
授業形態	実習	(実務経験)	動物病院 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		担当教員 (実務経験)	有 無
		担当教員 (実務経験)	有 無
		担当教員 (実務経験)	有 無
		担当教員 (実務経験)	有 無
		担当教員 (実務経験)	有 無
		担当教員 (実務経験)	有 無
		担当教員 (実務経験)	有 無
		担当教員 (実務経験)	有 無

授業科目 (科目ID)	グルーミング演習		担当教員	トリマー学科教員		
			(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	トリマー	
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	演習		授業回数(1回90分)	30	時間数	60時間
授業目的	グルーミングの目的と必要性を理解し、グルーミングの基礎技術を習得する。犬に負担を与えない様保定し気持ちを考えて作業する。					
到達目標	グルーミング技術の基礎の習得					
テキスト・ 参考図書等	グルーミング実習着・エプロン・グルーミング道具・ウィッグ					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	60%	その他内訳:60%授業内でのテストを行う。または課題などで評価。 40%授業内での小テストを実施します。			
	レポート	%				
	小テスト	40%				
	提出物	%				
	その他	%				
履修上の 留意事項	講義内容は進度により変更する事があります。 ウィッグを使用して授業を進行する場合があります。 当日のモデル犬種により授業内容が変更になる場合があります。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1 2	グルーミング基礎実習論	道具の使用練習 お客様対応について その他			
	3 4	グルーミング基礎実習論	道具の使用練習 作業実演 その他			
	5 6	グルーミング基礎実習 1	ブラッシング・コーミングの基礎・道具の扱い・犬の扱い方			
	7 8	グルーミング基礎実習 2	ブラッシング・コーミングの基礎・道具の扱い・犬の扱い方			
	9 10	グルーミング基礎実習 3	ブラッシング・コーミングの基礎・道具の扱い・犬の扱い方			
	11 12	グルーミング基礎実習 4	ブラッシング・コーミングの基礎・道具の扱い・犬の扱い方			
	13 14	グルーミング基礎実習 5	ブラッシング・コーミングの強化・犬の扱い方			
	15 16	グルーミング基礎実習 6	ブラッシング・コーミングの強化・犬の扱い方			
	17 18	グルーミング基礎実習 7	ブラッシング・コーミング使用確認・爪切り耳掃除強化・犬の扱い方			
	19 20	グルーミング基礎実習 8	ブラッシング・コーミング使用確認・爪切り耳掃除強化・犬の扱い方			
	21 22	グルーミング基礎実習 9	ブラッシング・コーミング使用確認・爪切り耳掃除強化・犬の扱い方			
	23 24	グルーミング基礎実習 10	足裏バリカン強化・犬の扱い方			
	25 26	グルーミング基礎実習 11	足裏バリカン強化・犬の扱い方			
27 28	グルーミング基礎実習 12	足裏バリカン強化・犬の扱い方				
29 30	グルーミング基礎実習 13	足裏バリカン強化・犬の扱い方				

2023年度

吉田学園動物看護専門学校

愛玩動物看護師学科

授業科目 (科目ID)	ゼミ	担当教員 (実務経験)	小川 紀子 有 無 ✓		
対象年次・学期	1年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	演習	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	コンピュータを利用した事務作業に必要な文書の作成やマナーについて学習。				
到達目標	コンピュータの様々な基礎と利用技術の取得。				
テキスト・ 参考図書等					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%			
	レポート	%			
	小テスト	30%			
	提出物	70%			
	その他	%			
履修上の 留意事項					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	パソコンの基礎	パソコンの基本構成と IT 活用のルール・情報のモラル		
	2	WORD 基本1	基本的なビジネス文書		
	3	WORD 基本2	表を含んだビジネス文書		
	4	WORD 基本3	図や図形を含んだビジネス文書		
	5	WORD 基本4・小テスト	添え状の作り方		
	6	EXCEL 基本1	基本操作		
	7	EXCEL 基本2	セル操作、ワークシート操作		
	8	EXCEL 基本3	オートSUM / 基本書式 / 関数検索		
	9	EXCEL 基本4	グラフの基本操作		
	10	EXCEL 基本5・小テスト	図形の作成		
	11	POWERPOINT 基本1	基本操作		
	12	POWERPOINT 基本2	図形やスライドの挿入		
	13	POWERPOINT 基本3	書式設定		
	14	POWERPOINT 基本4	アニメーション		
15	POWERPOINT 基本5・小テスト	アニメーション			

2023年度

吉田学園動物看護専門学校

愛玩動物看護師学科

授業科目 (科目ID)	ビジネスマナー		担当教員 (実務経験)	矢島 靖子 有 無 ✓		
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	社会・組織の一員として必要不可欠な社会常識を理解し、初歩的な仕事を処理するために必要な知識やビジネスマナーを学び、社内外の人と良好な関係を築くために求められるコミュニケーション能力の修得を目的とする。					
到達目標	社会人常識マナー検定3級					
テキスト・ 参考図書等	社会人常識マナー検定テキスト2・3級、プリント教材					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	70%	評価試験:70% 小テスト:30%			
	レポート	%				
	小テスト	30%				
	提出物	%				
その他	%					
履修上の 留意事項						
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題		履修内容		
	1	社会常識(社会と組織)1		社会人の自覚、キャリアを理解する。会社組織の成り立ち		
	2	社会常識(社会と組織)2		スキルと能力、変動する社会、雇用形態の多様化		
	3	社会常識(社会と成果)1		目標の重要性、組織目標と個人目標		
	4	社会常識(社会と成果)2		主体性の発揮、組織活性化、企業と経営資源		
	5	社会常識(一般常識)		政治や経済に関する基礎用語、ビジネス用語等		
	6	社会常識(ビジネス計算)		ビジネスにおける計算力、数式を元にした課題の解決		
	7	検定対策1		演習		
	8	コミュニケーション(ビジネスコミュニケーション)1		慶弔の重要性とポイント、職場のコミュニケーション、組織と人間関係、良い人間関係のためのコミュニケーション		
	9	コミュニケーション(ビジネスコミュニケーション)2		第一印象の重要性、立ち振る舞い、身だしなみ、表情、お辞儀と挨拶、基本の挨拶言葉		
	10	コミュニケーション(社会人にふさわしい言葉遣い)1		敬語の種類尊敬語・謙譲語の適切な使い方		
	11	コミュニケーション(社会人にふさわしい言葉遣い)2		職場での言葉遣い、話し方と聞き方、指示の受け方、報告の仕方、連絡の仕方、相談の仕方		
	12	コミュニケーション(ビジネス文章)1		ビジネス文書の書き方と留意点、社内文章の種類・形式		
	13	コミュニケーション(ビジネス文章)2		社内文章作成、報告書、議事録、通知文		
	14	コミュニケーション(ビジネス文章)3		グラフの種類と特徴		
15	検定対策2		演習			

2023年度

吉田学園動物看護専門学校

愛玩動物看護師学科

授業科目 (科目ID)	ビジネスマナー		担当教員	矢島 靖子		
			(実務経験)	有	無	✓
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	社会・組織の一員として必要不可欠な社会常識を理解し、初歩的な仕事を処理するために必要な知識やビジネスマナーを学び、社内外の人と良好な関係を築くために求められるコミュニケーション能力の修得を目的とする。					
到達目標	社会人常識マナー検定3級					
テキスト・参考図書等	社会人常識マナー検定テキスト2・3級、プリント教材					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	70%	評価試験:70% 小テスト:30%			
	レポート	%				
	小テスト	30%				
	提出物	%				
	その他	%				
履修上の 留意事項						
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題		履修内容		
	1	ビジネスマナー(職場のマナー)		出勤時から終業時、公私、機密のけじめ		
	2	ビジネスマナー(来客対応)1		上司や担当者との約束がある場合、来客への対応		
	3	ビジネスマナー(来客対応)2		受付から見送り、約束のない来客への対応		
	4	ビジネスマナー(電話対応)1		受け方の基本手順、名乗りから切り方、伝言メモ		
	5	ビジネスマナー(電話対応)2		FAXの送信、電話の掛け方と携帯電話の心得		
	6	ビジネスマナー(交際業務)		慶事のマナー・結婚・弔事のマナー、病氣見舞い		
	7	ビジネスマナー(文章類の受取りと発送・他)		文書の取扱い、郵便の役割、さまざまな配達サービス、オフENS環境と事務機器		
	8	検定対策3		演習		
	9	検定対策4		総合演習		
	10	検定対策5		総合演習		
	11	検定対策6		総合演習		
	12	検定対策7		総合演習		
	13	検定対策8		総合演習		
	14	検定対策9		総合演習		
15	検定対策10		総合演習			

2023年度

吉田学園動物看護専門学校

愛玩動物看護師学科

授業科目 (科目ID)	愛玩対策	担当教員 (実務経験)	前鼻 彰人 動物病院 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
対象年次・学期	1年・通年	必修・選択区分	必修	単位数	3単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	23	時間数	45時間
授業目的	愛玩動物飼養管理士2級の合格レベル、知識を覚える。				
到達目標	愛玩動物飼養管理士2級に合格する。				
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物飼養管理士2級教本第1巻・第2巻 課題報告問題集				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70%	評価試験:70% 小テスト:30%		
	レポート	%			
	小テスト	30%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の 留意事項	就職活動に関する必要な知識を学び、個々の就労意識を高めていく。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	愛玩動物飼養管理士の社会活動	日本愛玩動物協会とは、愛玩動物飼養管理士について		
	2	動物愛護論	動物観について、動物愛護運動の歴史、現代の動物愛護の思想		
	3	人と動物の関係学	関係学とは、人間社会に貢献する動物、子どもの発達と動物		
	4	動物のからだの仕組みと働き 1	基本の仕組み、消化器、循環器、腎臓・肝臓		
	5	動物のからだの仕組みと働き 2	感覚器、神経系、生殖器、小テスト		
	6	動物の飼養管理 1	総論、健康と疾病、管理衛生		
	7	動物の飼養管理 2	犬の歴史、犬の飼養管理、猫の歴史、猫の飼養管理		
	8	動物の飼養管理 3	ウサギ、ハムスターの飼養管理		
	9	動物の飼養管理 4	モルモット、フェレット、チンチラの飼養管理		
	10	動物の飼養管理 5	鳥類総論、フィンチ・インコ/オウム類、繁殖・手乗りについて、爬虫類の飼養管理、小テスト		
	11	動物のしつけ	学習理論、犬と猫の社会化、犬のしつけ、猫のしつけ		
	12	動物愛護管理法 1	法令概論、法の制定・改正の歴史、目的・基本原則、基本指針、所有者又は占有者の責務		
	13	動物愛護管理法 2	動物販売業の責務、第一種動物取扱業について、第二種動物取扱業について		
	14	動物愛護管理法 3	周辺環境の保全に係る措置、特定動物について、35条～40条、罰則		
15	その他の法令	狂犬病予防法、身体障害者補助犬法、ペットフード安全法、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律、小テスト			

履修主題・履修内容	16	法令まとめ	まとめ、問題解説
	17	飼養管理まとめ	まとめ、問題解説
	18	検定対策 1	課題報告問題
	19	検定対策 2	課題報告問題
	20	検定対策 3	課題報告問題
	21	検定対策 4	課題報告問題
	22	検定対策 5	課題報告問題
	23	検定対策 6	課題報告問題
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			